

クラス分け決定後における
杭州 2022 アジアパラゲームズ競泳競技
知的障がい日本代表推薦選手の決定

標記について、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

選考の結果、日本代表推薦選手は男子8名、女子6名の計14名とし選手氏名は以下のとおりです。

なお、以下の選手はあくまでも連盟からの推薦選手であり、日本代表選手の決定は日本パラリンピック委員会が行います。

*肢体不自由・視覚障がい（S1～13クラス）選手の日本代表選手は、一般社団法人日本パラ水泳連盟が選考・発表いたします。

1、当連盟の定める推薦基準により、日本代表推薦選手に決定した選手

【男子：8名、女子6名】

優先順位	選手名前	所属	該当種目
1	山口尚秀	四国ガス	100m 平泳ぎ、
2	木下あいら	個人（大阪府）	200m 個人メドレー
3	芹澤美希香	宮前ドルフィン	100m 平泳ぎ
4	松田天空	NECGSC	100m バタフライ
5	村上舜也	NECGSC	100m バタフライ
6	井上舞美	イトマン大津	200m 個人メドレー
7	福井香澄	滋賀友泳会	100m 背泳ぎ
8	関ヶビン	茨木 ST	200m 自由形
9	佐藤悠人	個人（仙台市）	100m 平泳ぎ
10	安藤 渉	個人（千葉県）	100m 平泳ぎ
11	宮崎 哲	あいおいニッセイ	200m 自由形
12	中島啓智	あいおいニッセイ	200m 個人メドレー
13	出口瑛瑚	ミズノ SS	100m 平泳ぎ
14	渡邊麗美	NECGSC	100m バタフライ

* 齋藤正樹（ミミ SC）はシェフィールドにて国際クラス分け受検の結果、世界パラ水泳連盟が定める世界選手権大会の参加資格（競技クラスステイタス）を満たすことができないことが確定したため、保留選手から除外しました。

2, 不服申立てについて

本選考結果について、不服申立てを行う場合は、2023年7月20日（木）まで（本発表より1週間以内）に登録団体責任者等を経由して当事者本人より理由を記載した書面と審査費用3万円を添えて、日本知的障害者水泳連盟会長宛に提出することで、不服申立てを行うことができます。

不服申立てがあった場合は、不服審査会を設定し審査を行います。不服審査会には、当事者本人、親権者、登録団体責任者が出席し、意見を述べるすることができます。不服申立てが認められた場合は、審査費用は返還されるものとします。

また、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構が仲裁する範囲の不服申立ては、スポーツ仲裁規則に従ってなされる仲裁により解決されるものとします。

この決定情報は、日本知的障害者水泳連盟ホームページ (<https://jsfpid.com>) に掲載いたします。